

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		支援スペースは法令順守している一方で、支援数が多い時は十分に広いスペースとは言い難い時がある。 工夫点として職員間で事前に相談し、それぞれのプログラムに合わせた支援場所やパーテーションの配置を工夫するなど、支援スペースの確保と、より充実した支援が提供できるように努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		支援をご提供させていただく時間によっては前後が詰まっていることもあり、ご不便をおかけしていることがある。 改善として、利用者様の入れ替わりや誘導などスムーズに行えるように努めていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			トイレやミーティングルーム付近に段差があるが、段差があることが分かりやすいように目立つ色のテープを貼るなどの工夫をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート等で頂いたご意見をもとには職員間でミーティングを行い、共有するとともに課題解決に向けて方策等を検討し、業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価は受けてはいないが、定期的に相談支援事業所等の外部機関と連携を図り、評価につながる意見を聞き取り、業務改善に努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部・外部の研修等に参加している。また、研修後に報告書を作成し、資料を事業所内で共有することで、療育の資

					質や知識を深めていけるように努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか	○		日常的に保護者様や相談支援事業所の職員と連携を図り、それらより得られた情報等をもとに充実した支援につながる計画になるように努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		保護者様のご協力のもと、発達検査等の結果報告書などを提供していただき、職員間で共有するよう努めている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		オーダーメイドの支援プログラムを個々に組み立て、その内容を職員同士で共有・意見交換を行い、より質の良いプログラムを立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		支援目標をベースにしつつも、楽しく支援を受けられるように、それぞれの職員の持ち味や得意なことを活かした支援プログラムを立てている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇中の宿題等のサポートが必要な場合は、取り組み計画も含めて支援させていただいている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等サービス計画を作成しているか	○		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員同士で支援プログラムを事前に共有し、内容に合わせて支援を提供するスペースを確保するなどの工夫を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ミーティングや日常的に職員同士でやり取りを行い、気づいたことや感じたことを共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		必要に応じて相談支援事業所等と連携を図り、よりよい内容のある支援計画の作成につながるように努めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		
関係機	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○		

関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		保護者様や学校のご要望があった際に、利用者様の様子や支援目標等の情報の共有・交換を行っている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、対象者はおられないが、今後必要となった際に市役所や児童発達支援センターと連携を図っていく。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者様から園での様子をお聞きするなどをし、状況の把握に努めている。また、保護者様からご要望があり、必要と判断した場合は関係機関と連携する体制はできている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	今年度は該当者はおられないが、今後該当者や保護者様からご要望があった際には応じさせていただき、必要な情報等を提供するように努める。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		大阪狭山基幹相談支援センター、大阪狭山市通所事業所部会と連携し、助言や研修の機会をいただいている。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	きらりが個別療育ということもあり、放課後児童クラブとの交流の機会を設定するのが難しい状況である。ご要望があれば検討していきたい。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		支援後に保護者様への振返りの時間を大事にしており、その時に様々な情報の共有などを行っている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		振り返りの時間などで、保護者様の相談を聴き取り、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただいたりなどを日頃から行っている。
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		ご契約時に説明するように努めている。また、保護者様から質問等があった際には説明する体制は作っている。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		振り返りの時間などで、保護者様の相談を聴き取り、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただいたりなどを日頃から行っている。また、内容によって相談支援事業所とも連携を図っている。

	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		多くの機会は設定できていないが、今後は様々なテーマを設定し、保護者様同士の交流につながるようにしていきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		ミーティングや日常の会話を通して、利用者様や保護者様の相談などの情報を職員間で共有し、迅速かつ適切な対応に努めている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		定期的な会報の発行はしていないが、LINE や教室内掲示物等で情報提供に努めている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○		事務室は仕切られた空間でないため、職員の作業中の PC の画面が見えることがある。 そのため、スクリーンセーバーをかけた後離席の際は画面を閉じたりなどの PC 画面が見えないように努めている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個別支援であるため、地域住民の方々を招待する機会設定が難しい。見学等のご要望があれば、受け入れに向けて検討するよう努めている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		様々な状況を想定した防災訓練を定期的実施し、マニュアルの確認等を行っているが、利用者様への情報提供が不十分である。今後アナウンスに努めしていきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		個別支援であるため、利用者様参加の機会設定は難しい。定期的に防災訓練を実施し、緊急時の対応について職員間で共有・確認している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		定期的に研修を受講している。受講できなかった職員がいるときは、日を改めて共有・伝達している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	当事業所では食べ物等の提供はしていないが、必要な場合は協力医等と連携し取り組んでいけるよう努める。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その日のうちにヒヤリハットの内容を記録・作成し、本部に報告している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

保護者等数（児童数）：53 回収数：27 割合：50.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	5		支援スペース等については法令順守している。 今後も職員間の情報共有を密にし、衛生・安全面を配慮しつつ、充実した支援を提供できるように活用スペースの工夫に努める。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	9	1	職員の配置数については、法令遵守している。 内・外部研修等を通じて今後も継続して、職員の資質や専門性を高めていけるように努める。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	11	1	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ^ⅰ が作成されているか	27			普段の利用者様の様子や保護者様との振り返り等で、情報の収集を密に行い、それらをサービス計画に反映するように努めている。
	⑤	活動プログラム ^ⅱ が固定化しないよう工夫されているか	25	2		今後も支援方法・支援内容の工夫・改善を行い、職員の資質向上に努める。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	13	7	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	27			療育後の時間などを中心に、支援の内容や様子等を説明するよう努めている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	2		保護者様との振り返りや相談支援事業所の職員と連携を深め、情報の共有や相談などを丁寧に聞き取れるよう努めている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20	6	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	13	10	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	7		苦情受付窓口を設置するとともに、ミーティング等で迅速且つ適切に対応する体制はできている。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	5		

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	11	4	会報などは発行していないが、LINE や教室内掲示、HP などを活用して様々な情報の提供を行っている。 自己評価については事業所内の掲示やHP を通じて公表している。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	23	4		利用者様の個人情報等は鍵付きのロッカーに保管し、流出しないように努めている。 当事業所は事務室と療育スペースに仕切りがないので、支援中ではPC をスクリーンセーバーに設定し、情報の流出・漏洩にならないように努めている。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	7		事業所の出入り口付近に掲示している。 また、ご契約時に説明するように努めている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	13	1	定期的に事業所内で様々な状況を想定した防災訓練を行っている。 一方で、個別療育ということもあり、利用者様の複数の参加を踏まえての訓練は難しい状況ではある。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	5	1	今後も楽しく学んでいただけるよう、職員のスキルアップを図るとともに、個別プログラムの内容や支援方法の工夫に努める。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	24	3		今後も利用者様及び保護者様のご利用日の変更や追加利用の変更などの様々なご要望に極力お応えできるように努めるとともに、満足度の上がる工夫した支援を提供できるように努めていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。